

滋賀県レイカディア大学 同窓会
甲賀・湖南支部だより

第19号
滋賀県レイカディア大学
同窓会 甲賀・湖南支部
発行責任者 森井幸三

<主な内容>

支部長就任ご挨拶 (31期 地域文化 森井幸三).....P2
支部長を退任するにあたって (23期 園芸 橋本元夫).....P3
本部表彰受賞者の言葉 (17期 文芸 谷北嘉一郎).....P4
甲賀・湖南支部定期総会開催 (21期 スポ 鈴木勲).....P5
レイカディア同窓会甲賀・湖南支部 ・
 グラウンドゴルフ大会 (27期 陶芸 畑中良一).....P6
同好会活動
 里山ハイキング同好会報告 (31期 地域文化 高山雅史)•P7
近況報告 (30期 陶芸 藤岡茂樹).....P8
活動記録
 ボランティア活動を回顧 (33期 園芸 田村光男).....P9
平成28年度本部定期総会開催報告 (21期 スポ 鈴木勲)
 編集後記 (31期 地域文化 高山雅史)••P10



レイカディア同窓会 甲賀・湖南支部 グラウンドゴルフ大会

支部長就任ご挨拶

31期 地域文化学科 水口町 森井幸三



去る4月22日の定期総会において、橋本前支部長の後を引き継ぎ支部長の大役を仰せつかることとなりました。皆様方のお力添えを得て一生懸命務めさせていただきますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

同窓会は多様なニーズを持った人たちの集まりであり、同窓会への期待も人それぞれに異なるものがあります。同窓会の役割は「仲間同士集まる機会の提供」「仲間への各種情報発信」に集約されるのではないのでしょうか。その中で、同じ趣味を持つ方々が活動を共にして親睦を深めていければと思っています。

すべての会員を満足させる同窓会活動が理想ではありますが、せめて、いろんな行事に参加された方が「楽しかったな」「また出会おうな」と思えるような同窓会活動にしたいものです。

今年度の同窓会活動について主な変更点は次の通りです。

1) 組織体制を変更しました。

三役が支部長 副支部長2名 会計の4名体制から支部長 副支部長2名(うち1名が会計担当)の3名体制となりました。

2) 事業遂行に当たる各部の独立

事業遂行にあたっては総務研修部・健康福祉部・文化広報部に配属された各理事を三役が総括する体制でした。今年度から体育部・文化広報部・ボランティア活動部・作品展、新入会員歓迎会部・研修旅行部の5部とし、各理事が分担、その理事互選で部長が選任され、部長主導のもと事業が遂行されることとなります。三役はこれら事業を総括することとなります。

3) ボランティア活動部の新設

昨年から取り組んできた「同窓会としての地域貢献の在り方」の検討の中から「ボランティア懇話会」を組成し、湖南市・甲賀市にボランティア団体登録を行いました。この活動をより推進するため、新たに「ボランティア活動部」を新設したものです。

各事業活動について企画立案等は各部が責任をもち実施していきますが、活動に際しては全役員が協力して取り組むことを基本としています。

最後に三役を紹介します。

| | | | | |
|------|------|----|-----|---------|
| 支部長 | 森井幸三 | 水口 | 31期 | 地域文化学科卒 |
| 副支部長 | 鈴木 勲 | 甲南 | 21期 | スポレク学科卒 |
| 副支部長 | 前田松枝 | 土山 | 30期 | スポレク学科卒 |

会員皆さんあつての同窓会であり、参加者あつての事業活動です。三役・各理事一体となって会員に喜ばれる同窓会にしたいと思います。

皆さん方のご協力・ご参加よろしくお願い申し上げます。

支部長を退任するにあたって

23期園芸卒 甲賀町 橋本元夫



木々の緑も深みを増し、すっかり夏めいて参りましたが 皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

2年前年配ではありましたが皆様のご支援により支部長に就任させて頂き、今日まで三役・理事さん・各会員の皆さん方の心温まる御協力を賜り衷心から御礼申し上げます。

支部の活性化をテーマに誠心誠意取り組んでまいりましたが、その結果 支部としてボランティア活動がスタートすることが出来ました。又組織の充実をめざし執行体制

を見直し3役のうち会計を副会長の兼務とし役員を選出をしやすいようにしました。又行事毎に部長を置きやりがいと責任の分散を図りより多くの方が運営にかかわりをもってもらえるようにしました。

また少しでも運営をしやすいようにため費用弁償指針・HP 支部規約・会計処指針等を理事会の協力を得て制定しました。当初私が思っていた組織の大幅改革等には及びませんでした。3回にわたってプロジェクト検討会を開催、皆さんに協議して頂いたことに感謝しております

23期生として平成14年に同窓会に入会、16年から甲賀町地区の理事を始め18～19年に会計20～25年理事、26～27年支部長に至ります。

平成19年10月に文化広報部の方々と「同窓会甲賀支部の歩み」を発行支部の活動歴史として今日も継続して編集されています。平成17年GG同好会を、24年に里山ハイキングを有志の方々とともに結成しました。今日も活発に自主運営をされていて関係者のご尽力に感謝しております。

私も今年6月23日で満81歳になります。毎日甲賀町中央公園を約40分間ウォーキングして畑仕事と共に健康維持に努め、老人クラブの人たちと楽しく生活を送っています。近くに来られたら立ち寄ってください。

支部のますますの発展と皆様のご健勝を願って支部長退任の挨拶とさせていただきます。

米寿の祝い

受賞者の言葉

祝辞に感謝

風薫る5月、28年度定期総会の席上に於いて長寿の祝辞を賜り有り難く厚く御礼申し上げます。気が付けば何時の間にか米寿を迎えました。

父が他界した年齢を遥かに越える長きを生かされて来ました。それでも社会貢献は父の足元にも及ばないのが現実です。

レイ大に入学を許され2年間多くの級友に支えられ楽しく通学させて頂きました。卒業後は受けた知識を生かし地域のリーダーとして活躍する責務があると定められていたがなかなかその器になれず消光しています。

只我が集落も例にもれず少子高齢化、過疎が進み連帯交流が絶えて来ました。そこで何とかしようと始めたのが環境整備でした。

千本桜を目指し植樹手入れ等みんなが集い、わいわいがやがやと将来を語り交流を深めて来ました。幸いに鮎川の桜は今日、花見の穴場として万余の客が訪れて下さり、一時の活気が溢れます。

超高齢化して来た集落に活力を永久に続ける良きことは見付かりませんが後退はさせぬよう願っております。

今では家業の手伝い人として健康に留意して生涯助役を目指します。

本会の益々の発展を祈念致しますと共に御礼申し上げます。

17期 文芸 谷北嘉一郎



甲賀・湖南支部定期総会

去る、平成28年4月22日(金)水口中央公民館に於いて支部定期総会が開催されました。開催の挨拶等の後、提案事項について全て原案どおり可決承認されました。また、会計予算案に於いて支出の項目にボランティア活動費が新たに計上されました。

会則では(役員)等改正されていますので詳細は会則をご覧ください。総会終了後、33期園芸学科卒

片淵満様による「てづくりの桜並木とキャラクター通り」と題しての講演を聞き閉会しました。

記 28期 陶芸 植西偉文



新三役 左から

- 森井幸三支部長
- 鈴木勲副支部長
- 前田松枝副支部長

片淵満さん

講演
「てづくりの桜並木とキャラクター通り」



レイカディア同窓会 甲賀・湖南支部 グラウンドゴルフ大会

平成28年6月13日 甲南・杉川グラウンド
体育部 27期 陶芸 畑中良一



優勝 21期 スポ 鈴木勲さん



準優勝 27期 陶芸 小林龍朔さん



三位 28期 陶芸 木村栄子さん

A

レイカディア大OB会の、28年度第1回目の甲賀、湖南支部行事として、6月13日に、小雨の降る中、会員23名が楽しい、ひと時を、過ごす事が出来ました、会員仲間のコミュニケーションと健康作りに大いに役立ったと思っております。成績は満足で有った方、不満足の方あったと、思いますが、次の秋の第2回大会に頑張りましょう。

優勝者は、パー96のところを、72と優秀な成績で、鈴木勲さんが、2位は惜しくも 72で小林龍作さんが、以下3位は木村栄子さんが、当日賞として13位、又 B、B賞に該当された方、おめでとう御座いました。

体育部役員一同、御礼申し上げます。

28、6、13

里山ハイキング同好会例会報告

油日神社、櫛野寺、椿神社（鎗流馬）巡り

4月から5月にかけては各地で祭りが多いが、甲南に住む会員から地元の椿神社では300年ほど前から鎗流馬をやっているという話を聞いて見に行こうということになりました。

4月3日(日)に甲南にある3箇所の社寺のうち櫛野寺(らくやし)に行った。当寺は「いちいの観音」と言われ、「いちいの」は櫛野の字を当てる。天台宗総本山延暦寺の末寺で、往古は甲賀六大寺の筆頭でありました。

ここで甲賀三大仏の一つ薬師如来坐像と、他の団体と一緒に秘仏である十一面観世音(1丈1尺)を中心に二十体の仏像を見ることが出来ました。甲賀の里にこのような立派な重文の仏像があることに感激しました。

その後行った油日神社は本殿(重文)などは出来るだけ飾り金具などを付けない木造のままシンプルな所が特徴とのことでした。宝物館では改修の履歴を示す棟札などについて宮司さんから丁寧な解説をして頂きました。

そして午後から期待した椿神社の鎗流馬を見物しました。

椿神社の鎗流馬は寛永年間(1624~1645)神社造営の時鎗流馬を奉納したことが始まりといわれています。七十軒ほどの集落でこの伝統を引き継がれているのは並大抵のことではありません。

鎗流馬の語源は馬を馳せながら矢を射る「矢馳せ馬」から来ています。馬に乗った射手が狩装束をまとい馬を疾走させて矢を合歡木で作った割板の的に当てる。的は厄除けとして各家に持ち帰ることになります。

射手は二十代の若者が1週間ほど馬事練習場の特訓でやるそうです。この日の鎗流馬の馬は白馬で赤い綱で飾られ堂々とした姿でした。

射手は矢を射るだけでなく両手を広げたり、扇子を両手にかざしたり三様の疾走がある。この馬には鎧(あぶみ)がなく両足を広げたままで駆けるのには驚きました。ただ矢を射るときにはスーツを着た男性が手綱を引き駆けながら先導しました。



130m程の距離を疾走して的に矢を放ったのですが、パーンという音を響かせて見事に当たった時には見物の人々の拍手喝さいで、大いに盛り上がりました。

あまり時間に余裕がなかったためハイキングは出来なかったが、ラストが良かったので祭りを十分堪能出来ました。

里山ハイキング同好会会長 高山雅史

近況報告

2016レイ大甲賀同窓原稿

レイカ30・陶芸・工房・「風の森」藤岡茂樹

<近況報告>

- ・レイ大卒業後14年・学ばず、作家生活となる。
- ・終戦から70年・父(茂)帰還により出生する。
- ・戦後70年、4人兄弟、やんちゃに生きた。
- ・戦後70年、さだ子と結婚して、すてきな家族が増えた。
- ・戦後70年、日本の民主教育をほんりゅうで支えた。
- ・戦後70年、文部省発刊の「新しい憲法の話」を教えた。
- ・戦後70年、働きながら絵を描き続けた、生きた証だ。
- ・戦後70年、反戦・平和を貫いて、甲賀町の空白克服した。
- ・戦後70年、地球を2周して、世界の中の日本のを視た。
- ・戦後70年、日本には、世界に誇る憲法9条があった。
- ・戦後70年、「平和を願う子どもたちの作品展」を継続。
- ・戦後70年、まさかのガン、胃・胆のう・膵臓との別れ。
- ・戦後70年、リンパ腺に転移、まだ生きている。
- ・戦後70年、今や、戦前にするのか。
- ・戦争は、どげなわけ付けても、人殺した。

ボランティア活動を回顧

33期 園芸科 田村光男

無事定年退職。自由奔放の身になったが、これから何をなすべきかと暗中模索。定年退職を無事終えたのも、地元の方のご協力のお陰と感謝。出来れば地元になんかで恩返したいと沈黙考。

当方の性分から毎日・短期・長期のプランを持っていないと、ノリノリと過ごしてしまうのが透けて見える。時間は有るが金は無。二日酔いが趣味の当方には朝方の時間のケジメが大事。

児童委員をしていた経験と自分の健康保持を兼ねて、小中高校生朝の登校時の交通安全見守り活動と声掛け運動を決心。

活動場所は旧東海道と県道の交差点で、活動時間は通学日の7時15分から45分までの30分。元気な声で「おはよう」「おはようございます」と元気に挨拶を返してくれるのが、何とも言えない健康良薬。

あれから13年。小学校入学後、夏休み前までおばあさんに付き添われて登校していた男の子が、高校生となり声変わりした声で「今日は！」と挨拶を受け成長した姿を見て嬉しいものです。

半面、当方も年をとったものだと痛感。

5年程前のある朝、自転車に乗って喚きながら50歳位の顔面髭だらけの不審者が登場。自転車を止めて集団登校時の児童に何かを言ったため、立ち去るように注文。「何を！」と髭面の男が仁王立問答の結果、当方の悪面が効いたのか文句を言いながら立ち去りました。

児童は無事に登校。今後の事を考え、駐在所に連絡。駐在所が即駆け付け1キロ先で職務質問。大阪方面から来た放浪者であったようです。

後で振り返ると児童にも我が身にも何事もなく安堵。今一步で、この世とさらばだったと身震い。

お陰様で十数年間大病をすることも無く過ごせたのも、朝立ちがあったからと捉えております。今後も見守り活動を続ける所存です。



平成28年度本部定期総会開催報告

平成28年度レイカディア本部定期総会が5月26日(木)レイカディア大学草津校教室に於いて県下各支部の会員91名出席のもと盛大に開かれました。議事に先がけ平成28年度長寿者(白寿、米寿)の慶祝の儀が行われ白寿1名、米寿29名の方々に礼状と記念品をお受け取りいただきました。

甲賀、湖南支部関係で米寿2名が対象となりました。

谷北嘉一郎氏(文芸17期生) 土山

杉本つた子氏(生活13期生) 信楽

誠におめでとうございます。

議事に入り今年度の活動方針を決定しました。

- 主な方針では レイ大ホームページの充実
- 地域活動部会を新設 地域と密に活動を行う。

記念公演

- SNS(ライン ツイッター等)普及の留意点について

滋賀県人権センター 松浦 弘明氏

スマートフォンが普及し大変便利であるが使い方を間違えてしまうと大変危険特に小学生 中学生も持っている時代、家族でよく話し合っ使用するようにしてほしい。ネット社会には落とし穴がいっぱい潜んでいるので注意が必要

記 21期 スポ 鈴木 勲

編集後記

梅雨の時期はうっとうしいものと決まっていますが、今年の雨は各地で数年に一回というような豪雨が非常に多い。過去3度の大地震の上に雨と、この大地で天地双方の災害にもめげず日本人はよく頑張っていると思います。

われわれの同窓会も今年度から支部会則が大幅改正になり気持ちを新たに歩むことになりました。従来の各運営事業部を各担当理事が事業部長となり、部毎の責任が明確になり、またボランティア事業部がボランティア活動を専門に支援することになりました。

全体に各計画の効率的な運営が出来るように改正になったのです。

わが文化広報部としても支部の事業内容と、ほとんどの人がされている日常活動内容を具体的に会員の皆さんに知ってもらい、日々の生活の励みにしてもらえというのがささやかな願いです。

文化広報部 高山雅史